



東中学校だより

令和8年9月29日 第12号

文責 校長 沼野 友宏

学校教育目標 ○進んで学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○身体をきたえる生徒

新人体育大会比企地区予選会

明日30日（水）から以下の予定で比企地区内各会場にて、新人体育大会比企地区予選会が行われます。なお、天候等の関係で、部活動によっては、延期になることもあります。

野球	10月1日（木）～10月3日（土）	東松山市営球場
サッカー	30日（水）～10月2日（金）	東松山岩鼻サッカー場
ソフトテニス（男）	10月1日（木）・2日（金）	東松山市営コート
ソフトテニス（女）	30日（水）・10月2日（金）	東松山市営コート
バスケットボール（男女）	10月1日（木）～3日（土）	東松山市民体育館他
バレーボール	30日（水）	東松山市南地区体育館
	10月1日（木）	川島町民体育館
卓球	30日（水）・10月1日（木）	吉見町民体育館
剣道（男女）	10月1日（木）・2日（金）	東松山市南地区体育館

元プロ野球監督 故野村克也さんの「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」という名言があります。これは、「負けるときは、負けにつながる必然的な要因がある（不思議な点はない）。しかし、勝つときには、どうして勝ったのかもわからない不思議な勝ちがある。」ということを表しています。この言葉は、勝負の綾を示す言葉として、広く知られています。もともとこの言葉は、江戸時代の平戸藩藩主 松浦静山の言葉だそうです。

そして、「勝負は時の運」とも言います。これは、勝負に運はつきものだから、必ずしも実力通りに決まるとは限らないということを表しています。バスケットボール漫画の不朽の名作「SLAM DUNK（スラム ダンク）」の湘北高校バスケットボール部監督 安西先生の「あきらめたらそこで試合終了ですよ」という名言もあります。

新チームになって、初めての公式戦、普段以上の力を発揮するのは難しいと思いますが、あきらめずに最後まで集中して競技すること、そして、普段の力を発揮するためには、平常心で競技することが大切です。出場する生徒の皆さんが持てる力を全て発揮できることを願っています。頑張れ、東中生！！

授業参観＆進路説明会

9月17日（木）第2回進路説明会を実施しました。併せて、5校時には3年生の授業参観を行いました。授業参観には、約50名の保護者の方にお越しいただき、おがわ学の授業を参観いただきました。今年の3年生のおがわ学は、クラスの枠を越え、歴史、農業、自然・災害、産業、移住・交通、細川和紙の6分野に分かれ、学習を進め、それぞれのテーマについて、課題や課題解決などプレゼンテーションを通じて、提言を行います。初めての取組ですので、どこまで出来るか不安はありますが、それ以上に期待感があります。

進路説明会では、進路指導主事 菅野教諭が私立高校や公立高校入試の制度や注意点等を説明しました。特に、私立高校については、受験する可能性や興味のある学校の相談会には必ず参加すること、公立高校については、今年度より全ての学校で面接が課されることなどの話がありました。また、進路選択にあたっては、生徒が主体となって進路決定をして貰いたい、その上で①進む道を決める初めての経験となる ②「高校」が決まればよいということではなく、将来への1歩を踏み出すことが大切 ③しっかりと勉強する ④進んで情報収集する ⑤進路決定に向けて計画を立てる ⑥自己責任で進路決定に必要な物を準備する

などの話がありました。詳細は、進路説明会資料や進路だよりを参照ください。

生徒会本部役員選挙

生徒会本部役員の任期満了にともなう、新たな生徒会本部役員を選出するための立合演説会及び投票が9月28日（金）に実施されました。今回の選挙には、1年生7名、2年生4名が立候補しました。立候補者は、限られた紙面の選挙公報に自分の考えを記し、演説では学校をさらによくしたいという思いをしっかりとした口調で主張していました。こういった思いを持つ生徒がたくさんいるということは、今後の生徒会活動の充実にもなり、さらによりよい東中の歴史と伝統の創造に繋がると感じ、心強く思いました。また、推薦人の生徒も立候補者の人となりについて、短い時間の中でわかりやすく紹介していて、大変感心させられました。今回も町選挙管理委員会の協力を得て、実際の選挙に使用する投票箱や記入台を使用して投票を行いました。



白杖体験

1年生の点字体験に続き、9月6日（金）に2年生が町内ケージーエス株式会社の方の指導のもと、白杖体験を行いました。初めにケージーエスの方から白杖は、①障害物にぶつかるのを防ぐ、②地面の状態や段差などを杖先で確認する、③周囲の人に「目が見えにくいです」という合図になる道具であるということ、また、案内する人は、①お手伝いしましょうかと声をかける ②相手に腕をもってもらい引っ張らず1歩先を歩く ③段差や曲がり角は具体的に声で伝えるなどの話をいただきました。その後、2階学習室から1階職員玄関付近まで、1人がアイマスクをして白杖を使用、もう1人が案内という2人1組で体験しました。生徒は、「目の見えている自分とは全く別の世界を感じていることや誘導者の人の声でとても落ち着くことが出来たことにはとても驚きました。」「点字ブロックなどの上にペットボトルやゴミがあったら、どうか、捨てるなどをしてほしいです。」「目の見えない人でも、料理をしたり、家事をしたり、一人でも出来ることはたくさんあることを知りました。」「街中で白杖をもっている方を見かけたら今日学んだことをいかして、勇気を出して声をかけてみたいと思います。」などの感想をもったようです。



おめでとうございます

○埼玉県中学校新人体育大会 200m個人メドレー 第6位 ○○○○

○小川班読書感想文コンクール

特選 ○○○○ ※県展出品

入選 ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○

○○○○ ○○○○

実用英語検定試験（英検）

9月25日（金）本校を準会場として、実用英語検定試験（英検）が行われ23名の生徒がら～準2級を受検しました。2年生については、町より受検料として、2,900円が年1回補助されます。他会場を受検した場合にも補助対象になります。その際は、領収書（写）や受検票など受検したことがわかる物の提出をお願いします。

本校を会場とした次回の英検は、年明け1月22日（金）に予定しています。折角の機会です積極的に受検して、自分の英語力を確かめてもらいたいと思います。なお、5級は中1程度、4級は中2程度、3級は中3程度、準2級は高1程度の英語になります。